

計画停電に伴う無停電電源装置 (BPシリーズUPS) の取り扱いについて

3月11日に発生しました東日本大震災で被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

この震災の影響により電力不足が発生し、その緊急対策として地域ごとの計画停電が予定・実施されています。計画停電時の弊社 BP シリーズ無停電電源装置 (以下 UPS) の取り扱いにつきまして、下記のとおりご連絡いたします。

－ 記 －

UPS は停電などの電源異常時に、UPS 内バッテリーの電力でバックアップ運転を行います。計画停電のような長時間停電が繰り返されることを想定した設計はされていません。

計画停電に伴うバッテリーバックアップ運転を繰り返し実施した場合、内蔵バッテリーの寿命が短くなります。UPS をお使いのお客さまは、緊急時を除いて以下のような取り扱いをお願いします。

■計画停電時の取り扱い

- (1) 停電前に、UPS に接続されている負荷機器を機器の停止手順に則った方法により停止してください。
- (2) 負荷機器が完全に停止したことを確認の上、UPS 本体を停止し、停電中にバッテリーが放電しないようにしてください。
- (3) 停電が終了しましたら UPS を起動し、UPS に接続されている負荷機器を起動してください。

■長時間停電、繰り返し停電の影響

- (1) 所定のバックアップ時間が確保できなくなります。
停電前に UPS 本体を停止しない場合、長時間の停電中にバッテリーが放電しますので、放電後に十分な充電時間が必要です。十分な充電時間が確保できない状態で再度停電が発生した場合には、所定のバックアップ時間が確保できず、負荷機器のサーバ・PC等が正常にデータバックアップされない、異常シャットダウンが発生する危険性があります。
- (2) バッテリー寿命が極端に短くなります。
頻繁に長時間バックアップ運転をした場合、バッテリーの寿命が極端に短くなりますので、早めのバッテリー交換をご計画ください。

■本件に関するお問合せ先

ソリューション事業推進本部 システム展開推進部
TEL : 03-3457-7194
電子メール : bpups-support@star.fielding.nec.co.jp

以上